

「生物多様性条約の現在・未来と日本の国家戦略」

講師：磯崎博司先生（明治学院大学）

現在、日本の生物多様性保全を進める最も大きな枠組みである「新・生物多様性国家戦略」（2002年3月策定）の見直しに向けた懇談会が行われています。

この生物多様性国家戦略の策定根拠となった生物多様性条約（以下 CBD）では、新・国家戦略策定以降、2010年目標の設定、テーマ別プログラムの樹立など大きな進展を見せておりますが、現在行なわれている懇談会では多様性条約の観点からの議論が充分とはいえません。

IUCN-J シンポジウム実行委員会では、3～4回にわたって国際的な視点から日本の国家戦略について考える勉強会を開催して、生物多様性保全に関する行政・NGO・市民の皆さんと一緒に国家戦略について学んでいきたいと思っております。

第1回目の勉強会は、国際環境条約の専門家である明治学院大学の磯崎博司教授を講師にお呼びして、CBDで今何が起きているかを勉強し、生物多様性国家戦略の策定過程に積極的に関わっていく際の基礎的な情報を共有したいと思います。

プログラム

1、挨拶・勉強会趣旨説明（IUCN-J シンポジウム実行委員会）

2、講義「生物多様性条約の現在・未来と日本の国家戦略」

磯崎博司教授（明治学院大学法学部）

- ・生物多様性条約の概要
- ・2002年以降の生物多様性条約
- ・世界の国家戦略の取り組み
- など

3、質疑応答

この勉強会は、財団法人自然保護助成基金の支援を受けて開催されます。

配布資料

- ・生物多様性条約・締約国会議決議に関する資料（仮版）
- ・第2回勉強会のご案内